競 技 注 意 事 項

1. 本選手権大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会要領により実施する。

2. 競技場使用について注意
   (1) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。利用は短時間とし、利用人数制限を守ること。男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。
   (2) 練習は補助グラウンドを使用すること。
   (3) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るか、メインスタンド東側の階段を上り、メインスタンド外側通路を使用すること。
   (※大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと)
   (4) メインスタンドには、テント、部旗、幟、横断幕などは設置できない。

3. 競技者招集
   (1) 招集時間は下記のとおりとする。
   ① トラック競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻50分前開始、30分前に完了
2次招集	スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

   ② フィールド競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻1時間10分前開始、50分前に完了
2次招集	競技場所にて	競技開始時刻30分前に完了

   ③ リレー競技

オーダー提出締切	招集所にて	1組の1次招集完了時刻60分前に完了
	(※オーダー用紙は、当日、招集所で配付する。)	
1次招集	招集所にて	競技開始時刻50分前開始、30分前に完了
2次招集	それぞれの走者スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

   ※ リレーに4名で申込んだチームが、当日4名に満たない場合は選手の補充はできない。
   ただし、同じチーム内に当該リレー種目へ登録していない選手が参加している場合に限り、当該選手からの補充を認める。
   (2) 招集場所及び方法は次のとおり。
   ① 1次招集は、招集場(競技本部、上の園路沿いスペース)で行う。

ア. 提示されたリストの自分の番号に〇をつける。
イ. トラック競技は「腰ナンバー標識」をとる。
ウ. アスリートビブスの点検は2次招集(現地)で受けるのでまずは自分で確認しておく。
エ. ア～ウが完了したら、各自で競技場所(現地)へ移動する。

   ② 2次招集は、競技場所(現地)で行う。(競技箇所図を参照)

カ. 代理人は認めない。2種目(個人種目とリレー)を同時に出場する競技者は、予めその旨を本人、又は代理人が競技者係に申告し許可を受けること。
キ. 競技役員の指示に従って、最終コール及びアスリートビブスの点検を受ける。
ク. 2次招集完了時刻に現地にいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

   (3) 欠場者は、競技者係に1次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届は招集所で受け取ること。
   (4) 2次招集完了時刻に競技場内にいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

4. 用器具について
   (1) 「ポール」と「やり」は私物の使用を認める。但し、「やり」は競技開始1時間30分前～1時間前までに用器具庫(競技場内本部裏側)にて検査を受けること。
   「ポール」は跳躍場で競技役員から競技開始前に検査を受けること。

5. 競技について

全　　般

   (1) トラック競技及びフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
   (2) トラックとフィールドにまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨申し出てトラック競技を優先して出場することを原則とする。
   (3) ナンバーカードは胸背部につける。但し、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。

トラック競技

   (4) トラック競技に出場する競技者は、配付された「腰ナンバーカード」を右腰やや後方に貼り付けること。
   (5) リレーに出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。

（6）本選手権大会における決勝については、以下の通りとする。
・ 200m以下及び4×100mRの競技は予選を行い、着順＋上位記録、又は、タイムレースにより、上位8名（8チーム）で決勝を行う。なお、決勝ボーダーライン上で0.01秒単位で同記録があった場合、0.001秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合は抽選とする。
・ 400m以上の競走種目はタイムレース決勝とする。
・ 決勝出場者は予選終了後、速やかに通告・発表（記録速報はWEB上で発表）するので、決勝出場の準備をしておくこと。また、招集場にて点呼を必ず受けること。
（7）セパレートレーンを使用する競走種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
（8）リレー競走で使用するマーカー（5cm×40cm以内の粘着テープ）は出場チームで準備すること。使用したマーカーはレース後に当該チームにおいて必ず取り除くこと。

ﾌｨｰﾙﾄﾞ競技

（9）フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
投てき種目の練習会場は、競技開始予定時刻30分前から競技場内投てきピットを開放する。
（10）フィールド種目の試技は全員3回行い、ベスト8位によってさらに3回の試技を行う。
（11）走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。（天候などにより変更することがある。）

一般・高校男子	（練習160㎝）	165	170	175	180	185	以後 3㎝
一般・高校女子	（練習120㎝）	125	130	135	140	145	以後 3㎝
中学　男子	（練習130㎝）	135	140	・・・・・・・	160	165	以後 3㎝
中学　女子	（練習100㎝）	105	110	・・・・・・・	130	135	以後 3㎝

（12）三段跳の踏切板について、砂場から次の通り設置する。男子：11m、女子：9m
（13）棒高跳のバーの最初の高さは（出場者の記録を考慮し）、競技開始前に告知する。
また、バーの上げ方も、5cm以上で（出場者の記録を考慮し）、競技開始前に告知する。

シューズについて

（14）スパイクは使用してもよい。
スパイクピンはの長さは9mm以内の平行ピンを使用すること。
※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン付きスパイク（ニードルピン）は使用できない。
※素足での競技は禁止する。
（15）本競技会では、ワールドアスレティックス（WA）承認シューズリストのシューズを着用していることを前提としているため、招集所や選手受付などで、参加者全員のシューズチェックは行わない。
ただし、「審判長」の権限により、いつでもシューズチェックをすることができ、参加者はその指示に従わなければならない。明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがある。万が一レース後に違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合がある。
（16）靴底の厚さは、以下の通りである。（規定外であることをレース前に確認した場合は出場を認めない）

○　トラック競技

800m未満	20mm以内
800m以上	25mm以内

○　フィールド競技

跳躍種目	20mm以内
投擲種目	20mm以内

日本陸上競技連盟公式サイト「シューズ規則に関して」
https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/
※随時更新されています。ご確認いただきますようお願いいたします。

6．記録の発表について
（1）記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。
プログラム表紙及び園内各所に掲示するQRコードを読み取るか　http://hokutan-rk.sub.jp/
にアクセスすることで閲覧することができる。

7．表彰について
（1）クラブ（学校）対抗は、男女別・部門別に、第1位に総合優勝杯、第3位までに賞状を授与する。
（2）各種目優勝者には選手権章、第3位までに賞状を授与する。
（3）優秀競技者に、最優秀選手盾を授与する。
（4）（2）の授与の場所は、競技本部、上の園路沿いスペースで行う。
（1）及び（2）は、閉会式の時に、授与する。

8. 感染症対策について

（1）3密を避けた行動を徹底すること。

（2）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。

（3）自身において、日々の体調管理を行うこと。

（4）発熱、咳嗽等の症状がある場合、または感染症快復後十分な時間を経過していない場合は、出場・観戦を自粛ください。

（5）マスクの着用は個人の判断で行ってください。ただし、気象条件によっては、熱中症予防の観点からマスクを外すことを推奨します。

9. その他

（1）競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。（傷害保険の範囲内にて対応とする）

（2）主催者は、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

（4）競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。

（5）競技場の用器具、機器等を破損等した場合は、大会総務に必ず申し出ること。（保険対象となる場合有り）

（6）ウィルス性の感染症や悪天候などを含む、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、または種目内容を変更する場合がある。中止や変更などが生じた場合の詳細は北丹陸上競技協会のホームページで発表する。